



たてくろジオパーク だより 第17号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー1 11ビル1階 ☎076-431-2089 📠076-482-3204

✉ info@tatekuro.jp

🌐 https://tatekuro.jp/

📘 https://facebook.com/tatekuro

■立山黒部ジオパーク 最近のできごと ①

◎日本ジオパーク新任者研修会に参加しました

4月22日（月）～4月24日（水）にかけて、伊豆半島ジオパークで開催された「日本ジオパーク新任者研修会」に、事務局から2名参加し、ジオパーク理念のルーツやユネスコ世界ジオパーク、日本ジオパークそれぞれの仕組みとルールなどジオパークに関することについて学びました。さらに、伊豆半島ジオパークのジオガイドの方々の案内でジオツアーに参加してきました。

1. 講義（22日、23日：大田区伊豆高原学園（伊東市））

- ①ジオパーク総論 産業総合研究所 渡辺真人氏
- ②マネジメントとパートナーシップ・企業との協力
隠岐ユネスコ世界ジオパーク 野辺一寛氏
- ③「伝える」をデザインする 北海道博物館 栗原憲一氏
- ④地域コミュニティと持続可能な開発
公立鳥取環境大学 柚洞一央氏
- ⑤世界と日本のジオパーク 防災科学技術研究所 中田節也氏
- ⑥持続可能な開発とは 伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク 鈴木雄介氏



2. ジオツアー（24日：伊豆高原近辺周辺）

行き先：大室山、城ヶ崎海岸、かんのん浜、橋立海岸

ジオツアーでは、きれいな円錐の形をしたスコリア（火山砕屑物の一種）丘の大室山を訪ねました。また、大室山の噴火で流れ出した溶岩流で形作られた城ヶ崎海岸も視察し、ジオガイドさんの解説で大室山と城ヶ崎海岸の関係を知ることができました。さらに、かんのん浜の「ポットホール」や、橋立海岸の柱状節理なども見学しました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



◎“地域のこれからを考える”ワークショップを開催しました

5月17日（金）にサンシップ研修室にて、島原半島ジオパーク協議会事務局次長の**大野希一氏**と、NPO法人桜島ミュージアム理事長の**福島大輔氏**をお招きして、ワークショップを開催しました。ワークショップにはジオガイド、地域でイベントなど主催している方々、支援自治体職員、ジオパーク協会関係者など30名が参加しました。



大野希一氏

最初に、大野さんから「なぜジオパーク活動をするのか」についてお話いただきました。大野さんは地域の子どもたちがふるさとに誇りを持ち、いきいきと生活していける社会をつくるために何ができるか、何が残せるかを考えながらジオパーク活動をされているそうです。「誰のため」「何のため」の活動かについて、活動に携わる人々が同じ意識を持つことが大切とのことでした。

続いて、福島さんが進行役となってワークショップを行いました。

まず導入の話題として、ジオパークは大地と人・自然のつながりを楽しみながら学べる地域のことで、メインの活動は人の活動であり、活動の目標については「自分の頭で考える」「自分たちで探す」ことが重要との指摘がありました。また、目指す姿（目標）を明確にしてから、そこへ到達する方策を検討していく方法（バックキャスト）の方が、より高い目標へ到達する近道となるというお話がありました。



福島大輔氏



福島さんのお話を聞いた後、

- ① 目指す地域の姿
- ② 現状
- ③ 目標を達成するためにすること
- ④ 明日から行動できること



についてそれぞれ個人で考え、その後2～4人のグループで何度かメンバーを変えながら、自分の考えについて話をしました。

今回のワークショップの参加者の方々からは、地域のこれからについて考える良い機会になった、ジオパーク活動というものが少しだけだがわかってきた、皆で共通の目標をもつことの大切さや大変さを感じることもできたなどいろいろな意見がありました。なによりも、いろいろな立場でジオパークに関わることになった人同士が顔をあわせ、前向きな対話をすることができたのは大変良かったようです。

今後、富山県東部地域が目指す姿や、目的を達成するためにジオパークができることなど、関係者の方々と対話を通して考えをすり合わせていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。



■土日祝日はうなジオにジオガイドが常駐しています

立山黒部ジオパーク交流施設 わくわく広場「うなジオ」に、11月中旬までの土日祝日にジオガイドが常駐しています。施設内の解説や宇奈月の街あるきガイドを行っていますので、宇奈月にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【立山黒部ジオパーク交流施設 わくわく広場「うなジオ」】

- ・黒部市宇奈月温泉 638 旧新川荘 1階（富山地方鉄道宇奈月温泉駅近く）
- ・開館時間：9:30～16:00（4月～6月）、9:30～16:30（7月～9月）
- ・休館日：水曜日、木曜日（祝日・お盆期間は開館） ・お問合せ先：090-6818-4572



■拠点施設イベント情報

魚津埋没林博物館 ジオパーク普及講座 洞杉の謎に迫る！南又谷ウォーキング

片貝川上流南又谷を歩きながら、大地の成り立ちと洞杉の関係について学びます。

【日時】6月16日（日）10:00～15:00

【場所】片貝川上流南又谷周辺

※埋没林博物館集合・解散

【参加費】500円

【定員】20名（先着順、申込受付6/1～）

【服装・持ち物】

昼食、飲み物、雨具など

山歩きに適した装備でご参加ください。



【問い合わせ・申し込み先】

魚津埋没林博物館 0765-22-1049

■たてくる 見どころ紹介コーナー

越中の国境「境関跡」～地形を利用した国境警備～

朝日町の境は、越中（富山県）と越後（新潟県）の国境に位置しており、中世には国境の攻防のための拠点が設けられていました。近世になり加賀藩がこの地を治めると、治安維持と通行管理のため関所が設置され、奉行と多くの警備役人が置かれました。

朝日町から新潟県の親不知にかけては、山が海岸付近までせり出しており、平地が極端に少ないのが特徴です。そのため、街道を越中（富山県）に出入りする際は、関所に建てられた大門をくぐる必要がありました。このように先人たちは、地形を上手に利用し国境を管理していたのです。

現在では、関所跡の敷地に大門が復元され、資料館「関の館」が建てられています。



関所跡に復元された大門（朝日町境）



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



ジオパーク散歩のご案内

現在6月開催の、現地集合現地解散型ツアー「ジオパーク散歩」の参加者を募集中です。参加ご希望の方は、開催日直前の営業日まで事務局までお申込みください。

6/8(土)

「富岩運河、 中島閘門のしくみ」

富岩運河の歴史やしくみについて学ぼう！

時間：9:45～12:00
(受付9:15～)

見学場所：富岩運河
集合場所：環水公園
天門橋南広場

定員：15名

6/12(水)

「人と自然」

美女平の自然と、人と自然のかわりについて学ぼう！

時間：9:00～12:00
(受付8:30～)

見学場所：美女平
集合場所：美女平駅前
定員：15名

6/24(月)

「1600万年前の 海底をあるこう！」

大昔は海の底だった！？
台地を歩いて海の痕跡を探そう

時間：9:30～12:00
(受付9:00～)

見学場所：大日公園
蓑輪の化石産地
集合場所：大日公園駐車場
定員：15名

参加費：300円

飲み物、雨具等持参

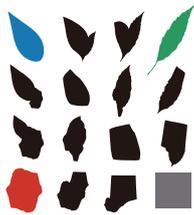
自然観察のできる服装でご参加ください。

※6/5の発見に満ちた称名滝

6/9の黒部川扇状地の歴史を探る

は、定員に達したため受付は終了しました。

協会会員企業の紹介



株式会社 PCO

<http://pcojapan.jp> info@pcojapan.jp

- 通訳・翻訳
- コンサルティング (価値創造)
- 会議・大会・イベント運営
- 広報・企画・デザイン制作

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、
五十音順 (昇順、降順で各1社ずつ)
でご紹介していきます。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



雄大な立山連峰と世界で最も美しい富山湾
富山の「山と海」が味わえます。

一万三千尺物語

高低差4,000mがテーマのダイニング列車

運行ルート

あいの風とやま鉄道線区間を1日あたり2本運行(富山駅発着)

1 富山駅 → 泊駅(折返し) → 富山駅

2 富山駅 → 高岡駅(折返し) → 黒部駅(折返し) → 富山駅

運行日

土、日、祝日、夏休み等
※ただし、年末年始及び冬期間(1月下旬～2月上旬)を除く

お問い合わせ **あいの風とやま鉄道株式会社 一万三千尺物語予約センター**
富山市牛島町24番7号 TEL: 0120-489-130 WEB: www.13000story.com